

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所特任助教  
の公募について

大学共同利用機関自然科学研究機構生理学研究所では、下記の要領で広報担当の特任助教を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知についてよろしくお願いいたします。

記

- 1 職種及び人数：特任助教1名
- 2 分野：生理学研究所の広報を担当していただきます。
- 3 任期：5年（再任あり）
- 4 応募資格：修士以上の方。博士号取得者が望ましい。大学あるいは研究機関での広報担当の経験は問わない。
- 5 提出書類：
  - (1) 履歴書（フォーマットはJREC-IN(<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)、又は生理研ホームページからダウンロードしてください）
  - (2) 著作物リスト
    - ア) 審査のある原著論文、イ) 総説・著書、ウ) 新聞・雑誌など刊行物（自筆のもの）、エ) その他、に分けて記入すること。印刷中論文は含むが、投稿中論文や準備中論文は含めない。
    - ア) 及びイ)：全著者名、題目、雑誌名、巻数ページ（始めと終わりのページ）、発行年を記入すること。
  - (3) これまでの研究概要及び広報担当としての抱負（1000–2000字）。
  - (4) 主要著作物 編以内の別刷2部（コピー可）
  - (5) 推薦書（1通以上）、照会先（1件以上）

\*原則として提出書類は返却しません。
- 6 公募締切：平成25年12月18日（水）必着
- 7 赴任時期：出来るだけ早期の赴任を希望します。

## 8 送付先及び問い合わせ先

### (1) 送付先：

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中3番地  
大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター総務部総務課人事係  
(「生理学研究所広報担当特任助教応募」と朱書きして、簡易書留で送付すること。)

### (2) 問い合わせ先：

(給与等処遇に関すること)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
岡崎統合事務センター 総務部総務課人事係  
電話：0564-55-7113  
e-mail: r7113@orion.ac.jp

(仕事内容に関すること)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
生理学研究所 統合生理研究系  
教授 柿木隆介  
電話0564-55-7751  
e-mail: kakigi@nips.ac.jp  
生理研ホームページ: <http://www.nips.ac.jp/>

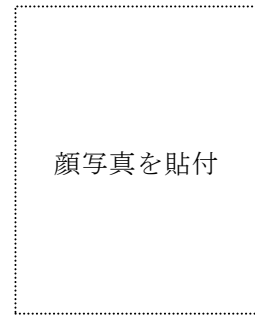
## 9 その他

- (1) 生理学研究所は、男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画の推進に取り組んでいます。
- (2) 生理学研究所は業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
- (3) 産前産後休暇・育児休業又は介護休業を取得した場合は、履歴書等にその期間を明記していただければ、それを考慮します。

生理学研究所特任助教（広報担当） 候補者略歴書

平成 年 月 日 現在

応募研究部門	生理学研究所	
応募の職	特任助教（広報担当）	
ふりがな 氏名 （旧氏名）		
生年月日	年 月 日（ 歳）	
学位	種類	（ 年 月）
	授与機関	



修 学 期 間	学 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
在 職 期 間	職 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
従 事 期 間	職歴以外の研究又は教育歴事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

従 事 期 間	その他学会活動等に関する事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

現 在 の 所 属 先		
所 属 先 の 住 所		〒
所属の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

自 宅 の 現 住 所		〒
自宅の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

その他参考事項
---------

# 推 薦 書

下記のとおり、生理学研究所特任助教（広報担当）の候補者を推薦します。

## 記

### 1 被推薦者氏名及び現職

氏 名

現 職

### 2 推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

平成 年 月 日

推薦者職・氏名

印

## 別紙 1

[業績目録の様式]

- 1 A 4 版用紙を用い、A) 原著論文、B) 総説及び著書の順で記載してください。
- 2 個々の論文、著書については、①著者名（共著者を含め印刷物どおり）、②発表年、③題名、④誌名、⑤巻・頁、(⑥発行所：著書の場合)の順で、発表順に番号を付けて記載してください。

[記入例]

### A) 原著論文

1. Neher E & Sakmann B (1976)  
Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers.  
Nature 260 : 779-802

### B) 総説及び著書

1. 日本太郎 (1990)  
聴覚の生理的基礎 勝木編 感覚の生理学  
P. 51-70 岡崎書院

## 別 紙 2

[その他参考資料の様式]

- A4版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5年)、④その他の順で記載してください。

[記入例]

### ①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

1. 生理太郎 (2000, 3)

Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition

The 26th SEIRIKEN International Symposium, "Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition", Okazaki, Japan (invited speaker)

### ②国際共同研究の実績

1. Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95

研究テーマ: Visual pattern recognition by primate neuronal networks

共同研究者: 生理太郎、Darwin C, Yang J

(代表者がある場合は下線を引いて下さい)

研究期間: 1995, 6 - 1998, 5

### ③競争的資金からの研究費の獲得状況 (最近の5年間)

1. 戦略的基礎研究推進事業 (科学技術振興事業団)

研究テーマ: 体性感覚における視床-大脳皮質機能連関 (研究代表者)

期間: 1996, 4 - 2000, 3

研究費総額: 230,000,000 円

### ④その他

1. 1996年 日本生理学会奨励賞